

弘長寺寺報
第9号
平成一六年
八月

曹洞宗の誇り

〜百四歳の禅師様〜

先日、NHKスペシャルで放映された「永平寺 百四歳の禅師」を、多くの方がご覧になったのではないかと思います。

日本には仏教宗派が多数ありますけれども、百歳を超えながら現役で貫首を務める方は、永平寺の宮崎奕保禅師様以外にはいらつしやいません。

まさに仏教界の頂点に立つておいでになるといつても過言ではないでしょう。

私たち曹洞宗にとって、こんなに誇りに思える事はないと思います。

弘長寺住職 森田裕光

今でも朝、三時半に雲水が目をさます頃には、もう坐禅堂で坐禅をなさっている。昼寝はせず、時間があれば写経をなさる。

独身を通し、修行一途の生涯を全うされるお姿は、まさしく「生き仏様」でございます。



普通は百歳にもなると、同じ事を何度も繰り返して話すようになるものなのですが、宮崎禅師様は違うのです。

これ位の時間でお話をお願いいたします、と依頼されればドレシヤリで終わられる。

生き仏様だから当然なのです。が、全てが「人間離れ」しておいでになります。

永平寺の貫首は激務です。

毎日全国からお参りになる方のお相手や、本山永平寺並びに全国の寺院で行われる授戒会法要(一週間)に「戒師」として呼ばれたり、葬儀の導師としてお願いされれば、どんなに遠方でも出かけなければなりません。

東京の宗務庁へも年に数回は必ず顔を出されます。

「お年を考慮して、貫首職から解放してさしあげるべきだ」との声が多いのも事実ですが、できる限り曹洞宗のため、全宗侶・檀信徒のため、仏教のため、一日でも長く貫首様でいていただきたいと願う次第です。

見えないからといって

坂村真民

日の昇らない時が
あったらどうか
月の出ない時が
あったらどうか
見えないからと言って
なかったとは言えない
それと同じく
みえないからと言って
神さまや
仏さまが
いないと誰が言えよう
それは見る目を
持たないからだ
大宇宙には
たくさん神や仏さまが居て
この世を幸せにしようと
日夜努力していられるのだ
一輪の花の美しさを見たら
一羽の鳥の美しさを見たら
それがわかるだろう
見えない世界の神秘を知ろう

行持報恩の心で

弘長寺護持会

会長 武田民三

今年は何年より、二十日も早く梅雨が明けたとのこと、連日の猛暑ですが檀家の皆様には愈ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さてご案内のとおり、長年の念願でありました「阿弥陀堂改築再建」を実行に移すべく段取りを進めています。

これは菩提寺（旦那寺）の堂塔伽藍を護持する使命を負う檀家の最大の行持と理解し、仏祖のご恩に報いると共に、各家ご祖先への感謝行を實踐できる絶好の機会ととらえ、真心をもって円成落慶の具現をしたいものです。

ところで、曹洞宗の信仰生活の原則が示されているとされる「修証義」は、我々檀信徒に対し、道元禪師（高祖承陽大師）様の教えをわかりやすくするため、明治二十年代に道元禪師様の主著である「正法眼蔵」から言葉を選び出して編成されたと言われ、五章三十一節からなり「行持報恩」は最後の第五章ですが、ここで教えられているのは、要すれば「仏祖のご恩のおかげで人間として生を受けた」ことに感謝しつつ、報恩のまことをつくすためには毎日の生活を「仏様のいのち」として営み続け「ありのままのいのちを生きる」ことが仏様のご恩に報いる唯一の方法である、と示されているように理解します。



すでに阿弥陀堂建立趣意書をもつてご案内いたしていますように現在阿弥陀堂改築積金が壹千五百万円となっております。

これから基本的な構想を、裕光方丈様のお考えを伺いながら取り纏め、基本設計してまいりますこととなります。

そのうえで、全体の特別会計予算の規模が確定すれば資金計画へと進めてまいります。

護持会役員会としては、現在の積金にあわせ、ひろく特別寄進を募ることとし、さらに不足する資金は檀家の皆様の課当金を予定させて頂き、その額を約五ヶ年程度の償還計画で借入することも考えられているところです。

阿弥陀堂の改築は、阿弥陀様をお祀りすることはもとよりですが、各家のご先祖様のお位牌を阿弥陀様のお膝元でお祀りすることに大きな意義がありまして、檀家皆様の利他行（布施）による喜捨をご期待申し上げます。次第であります。

合掌

お知らせ

●金位牌について

▽本来六万円の金位牌を、本数をまとめることよって、一年間は税込み三万円という格安で購入できたのですが、本年六月一日より三万五千円に

値上げになりました。

その内本来の値段に戻ると思われますので、未購入の方は早めにお申し込み下さい。

●門前の墓地の木を伐採しました

▽弘長寺地区、下屋敷 武田安広氏が、ご自分の墓地の周りを伐採されましたので、便乗して範囲を拡げていただき、お寺の寺族墓の周りもきれいに伐採していただきました。景観も明るくなって、落ち葉も少なくなり、助かります。伐採費用は全額武田氏からご喜捨をいただきました。

●盆棚経

▽棚経は、弘長寺地区、屋号深谷、武田邸から開始致します。弘長寺―鏡―浜東西―池田―小松―中垣―内ヶ峠―久戸と廻ります。例年の如く廻れるところまで。

▽新盆のお宅には十四日に参ります。時間はお約束できません。

▽棚経の際は、丁寧な挨拶は省略させていただきます。

▽お経は短いお経となります。

平成十五年度
禅をきく会に参加して

弘長寺護持会

会長 武田民三

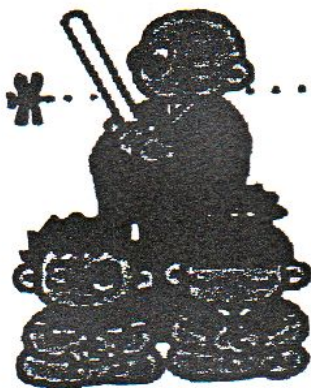
平成十五年十一月二十一日、島根県民会館大ホールで開催された宗務所檀信徒研修会において「禅話と椅子坐禅指導」と題し、曹洞宗中国管区教化センター統監松原徹心老師より坐禅のご指導がありました。

特に次の四点が心に残り感銘を受けた次第。
・調身(心)は調息・坐禅(仏教)は祇管打坐(只管打坐)・非思量(思量を超えた智慧のはたらき)・即心是佛

曹洞宗宗憲(裕光方丈様ご提示)第三条に「本宗は、仏祖単伝の正法に遵い、只管打坐、即心是佛を承当することを宗旨とする」とあるように、坐禅を宗旨とするからには我々曹洞宗檀徒の信仰生活の基本は、先ず坐禅

を實踐することにある、その純粹な姿こそが「即心是佛」を表現するものと教えられていたことを思うと、なまはんかな気持ちでは対処できないことと銘じりました。

裕光方丈様は弘長寺本堂で、一月と八月を除く毎月第一木曜日朝六時から七時まで坐禅の会を開いて下さっています。なかなか参加できずにいることを心から申し訳なく反省ばかりでありました。



今回ご指導いただいた「椅子坐禅」は一人でも多くの人がびとに坐禅を勧めらるための現代的な便法と理解しました。弘長寺公民館(弘遊館)あたりでも「椅子坐禅」

をご指導いただけたらなと身勝手なお願いをしりしてあります。

「禅」は坐禅であり、禅を行ずる最も基本的な端座とは文字通り坐る禅をいうのだと理解していただくので「結跏趺坐」をいたしました。

椅子坐禅こそは、開かれた曹洞宗の姿であるところであらためて深く思います。坐禅を中心とした曹洞宗の正法を戴く私たち檀信徒はまず、一日にたとえ少しの時間でも坐禅を実践するように勤める使命がある、との思いを強くいたしました。

二十一世紀は心の時代であり、宗教の時代だともいわれていきます。世界的にも、さまざまないデオロギーが乱立し、つねに対立し抗争し続けられています。そして互いに自分を正義とし、相手を

非難して止まないのです。

何が真実で何が虚偽なのかしつかりと見極め、生きていくことを求められる時代でもあると思います。



政治や経済も大切ではありませんが、それだけではない。そこにはいろいろなことがある。そこに気づかせ、てくれるのが宗教であり、信仰生活ではないでしょうか。

「人は何故生まれてきたのか」「自分は何者であるか」これほど重大なテーマはないと思う。この命題を少しでも正しく知るために、努力し求め続けていきたいものと思っております。

合掌

お知らせ

●阿弥陀堂改築建立について

▽先般趣意書をお送りいたしました。阿弥陀堂改築実行委員会が既に数回合会を開き、着々と計画進んでおります。役員会にて特別寄進を募ることが決定しましたので、皆様の喜捨による浄財をよろしくお願い致します。

●施食会申し込みについて

▽施食会の申し込みは、現在お寺に直接お届けいただくか、現金書留にてお送りいただいております。大切な浄財をお預かりするの間違いがあつてはなりませんので、来年より郵便局の振り込み用紙を同封させていただくことにしたいと思います。

●施食会法話は豊龍寺副住職 野村泰道師

▽八月七日の施食会の法話を新しく宗務所布教師となられました金山豊龍寺副住職、野村泰道師にお願ひすることになりました。

現在宗務所布教師は二名しかいませんが、その内の一人で新進気鋭のダークホースです。昨年、東京本庁布教師養成所で一年間勉強されました。若い説教師のお話をかたむけていただきます。



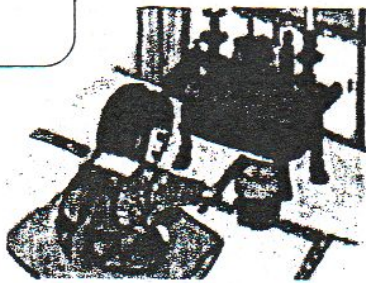
サバの心を育てよう

ご法事の際、私が仏様のお膳を取り、膳の上にご飯粒を約七粒ほどのせて、お唱えごと(ジテンキンシユ:)を言つてから飯椀に箸を立てるのをご覧になったことがおありでしょうか。これを「生飯(サバ)」と申します。

「生」は餓鬼・畜生・無縁霊など鬼界の衆生のことで、これに「飯」を与えて供養する事をいいます。修行道場では齋食(昼食)時にこの作法を行います。集められた生飯は生飯台(出生台)に置き、鳥や虫に食べさせます。

以前は「お施餓鬼」と申しておりましたように、お施食会の主役も鬼界の衆生です。恵まれない、報われない衆生に施し供養をする。その功德をご先祖様にめぐらせ手向けて(ご回向)いただき、ご先祖供養をするのです。

世界中の人々がこのサバの心を持ったなら、もつと住みよい世界に変わるのではないでしょうか。



住職の携帯電話番号です

090(7120)6636

いつでもどうぞ!



平成十六年度護持会地区委員

地区名	委員名	役職名
弘長寺	武田民三	会長 理事
"	石富頼男	幹事
"	高木大	
浜東	五百川道治	副会長 理事
"	伊藤正久	幹事
浜西	伊藤房男	理事
"	伊藤博	理事
鏡	勝部博	理事
"	勝部勝義	
久戸	坂本研次	副会長 理事
"	坂本順	
池田	五百川一男	
小松	伊藤隆庸	理事
"	土江通喜	
中垣	糸川正夫	
内ヶ峠	田村仁	理事
横見	糸川一義	
大野	石田満	事務局長
来待大森	内田松寿	理事
和名佐菅原	内田磯弘	
大谷玉造田根	伊藤幹	監事
柳井	勝部憲治	
町部緑ヶ丘	仲田克美	監事